

令和6年9月20日

尾道市長 平谷祐宏 様

尾道市総合戦略評価委員会
会 長 荒 井 貴 史

デジタル田園都市国家構想交付金等事業の評価について

【評価結果】

尾道市がデジタル田園都市国家構想交付金等を活用し、令和5年度に実施した5事業は、地方創生に対して有効であったと評価する。

・ICTを活用した保護者とのコミュニケーションプラットフォーム運用事業
(評価理由)

保護者の負担軽減や連絡事項伝達の確実性が向上したことに加え、施設の業務効率化が達成されており、保護者と教育機関の両面で利便性が向上しているため。

(指摘事項)

利用者へのアンケートや、市からのお知らせを一斉配信するなど、機能を上手く活用して、本システムがプラットフォームのような場になるよう、取り組んでいただきたい。

・防災情報の多言語配信事業
(評価理由)

市内在住者の上位5か国語を追加したことで、市内防災情報を外国人居住者に発信する環境を整えられたため。

(指摘事項)

転入者にQRコードを渡すなど、新規登録の案内を行うとともに、在住者に対する定期的な周知を行っていただきたい。

・スポーツ広場芝管理最適化事業

（評価理由）

利便性向上とコスト削減の両立ができているため。

（指摘事項）

他施設等への応用や展開への見本となり、省力化・省人化しても高品質の住民サービスが提供できることが実証されるケースになるよう期待したい。

・スマート公共施設構築事業

（評価理由）

施設利用者の利便性向上に向けた環境整備はもとより、利用者向けの説明会の開催等、運用の基盤作りに注力しており、国内外にわたる幅広い交流機会の創出につながることが期待できるため。

（指摘事項）

市内に限らず、海外の配信を視聴することも可能だと思うので、地域を超えた交流を生むような活用をしてほしい。

・総合事務システムと連携したスマート市役所実現事業

（評価理由）

市民の利便性が大幅に向上したうえ、事務作業の効率化に向けた改善意識を生み出す機会の創出につながったため。

（指摘事項）

引き続き、各分野における DX の取組を推進してほしい。